



たてやま

# 議会だより

No.68

2018.11.1

発行／立山町議会 ■ 責任者／議長 村田 昭 ■ 編集／議会広報特別委員会



## 日中上野小学校運動会

平成31年度より休校となる日中上野小学校で最後の運動会が行われました。(平成30年9月30日)

## 平成30年 9月定例会

〈9月定例会・補正予算〉……………	2	〈行政視察報告〉……………	9
〈総務教育・産業厚生常任委員会の審議〉……	3	〈犬山市との親善交流ほか〉……………	10
〈一般質問〉7名の議員が質問……………	4～8	〈子ども議会ほか〉……………	11
〈議員の賛否一覧〉……………	8	〈決算報告ほか〉……………	12



## 平成30年度一般会計補正予算額 10億9,924万5千円

(一般会計総額120億1,465万3千円に)

### 平成30年度一般会計の主な補正

- 立山ブランド海外展開戦略拠点施設整備事業  
(事業に必要な基金積立金、工事費等) ..... 5億8,285万円
- 橋りょう等ストック維持事業  
(白岩橋等の長寿命化にかかる工事費) ..... 3,500万円
- 地方道路整備事業(通学路の歩道整備等にかかる工事費) ..... 3,100万円
- 林道災害復旧事業(7月の豪雨で被災した林道の復旧工事費等) ..... 1,360万円
- 公共土木施設災害復旧事業  
(7月の豪雨で被災した町道の復旧工事費等) ..... 860万円

### 条例の制定および改正・計画の策定等

- 立山町ブランド海外展開戦略拠点施設整備基金条例の制定
- 立山町ブランド海外展開戦略拠点施設設置条例の制定
- 立山町地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部改正
- 立山町都市公園条例の一部改正
- 新瀬戸・立山辺地総合整備計画の策定について
- 東峯辺地総合整備計画の変更について

### 議員提出議案

- 臓器移植の環境整備を求める意見書の提出について  
「移植ツーリズムを考える会」から受けた陳情第2号を採択し、「臓器移植の環境整備を求める意見書」を国会や政府関係機関へ提出しました。
- 決算特別委員会の設置及び付託について  
6名の委員を選出。9/26～9/28の3日間に決算特別委員会を開催しました。

平成30年9月定例会は、9月5日から19日までの15日間にわたって開かれ、補正予算7件、条例の改正等4件、計画の策定および変更2件、報告1件、最終日追加の教育長の任命ほか5件、議員提出議案2件を上程し、合計21件の議案を可決しました。

議案第81号、82号は継続審査としました。(8ページ参照)

一般質問では、7名の議員が町政全般について質問を行いました。

(質問と答弁の要約は、4ページから8ページです)

会議録は、11月中に図書館及び、町ホームページで閲覧できるようになります。

# 委員会 の 審議

## 総務教育常任委員会

### 総務課

**Q** 公債費の繰り上げ償還33件の内訳は。

**A** 平成33年度に償還のピークを迎える。

財政健全化、後年度の財政負担軽減を目的に公共事業債、防災対策債、厚生福祉施設整備事業債などの公債費を繰り上げ償還予定としている。

### 企画政策課

**Q** 立山ブランド海外展開戦略拠点施設整備事業が、基金である意味は。

**A** 民間事業と地方公共団体が足並みを揃えて事業を行うことで地方創生の効果が上がる。

複数年に渡って民間業者と柔軟性をもって行えることから、基金

事業として採択された。

### 教育課

**Q** 米百俵基金積立事業の進捗状況は。

**A** 平成29年度の認定者は6名、平成30年度は2名の計8名である。

補助の開始は、初めての認定者が卒業する平成32年度からの予定となっている。

**Q** リーディングスキルテストの内容は。

**A** 子供たちの読解力が全国的に低下していることが課題となっている。

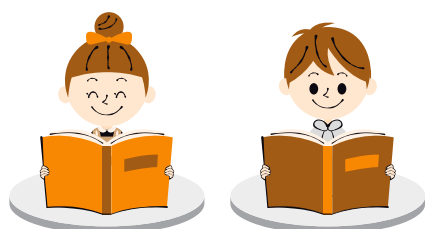
中学生を対象とした調査を行い、先生と生徒・保護者が一体となつて取り組むことで、読解力改善につなげていきたい。

### 水道課

**Q** 農業集落排水事業の料金管理システムの移行内容は。

**A** 県が行っているクラウド事業に、自治体が出資し合い大きなサーバーを管理する形に移行する。

より安価に機材の更新や維持管理ができる。町が被災した場合も早期復旧の利点がある。



## 産業厚生常任委員会

町議会では、2部門の常任委員会に分かれて、提出議案を審議しています。

### 建設課

**Q** 釜ヶ淵町営住宅入居者の通学費補助金の対象者は。

**A** 現在およびこれから入居する中・高生を対象に、地鉄の定期代の一部を助成するもの。

### 農林課

**Q** 町単土地改良事業の補助率が変更になった経緯や変更点は。

**A** 今年度から補助率が50%から40%に引き下げとなった。

それに伴い、農地耕作条件改善事業で国からの50%に加え、町と土地改良区から、各々10%を上乗せし、合計70%の補助となる。

### 健康福祉課

**Q** かがやき保育園のブロック塀が基準に適合しないのはなぜか。

**A** 土地購入時から敷地内にあった。

全ての児童施設を一斉点検調査し、かがやき保育園のみが整備の対象となった。



解体前のかがやき保育園のブロック塀

### 商工観光課

**Q** 吉峰ハイツの合併浄化槽の老朽化に伴い高効率省エネ機器へ更新とあるが、耐用年数や使用期間は。

**A** 合併浄化槽は平成4年4月から使用しており、耐用年数は、送風機7年・ポンプ5年である。

年数が経過していることから、今年度、補助金を活用して対応したい。



更新前の浄化槽（吉峰ハイツ）



# 一 般 質 問



7名の議員が一般質問を行いました。

一部の質問・答弁について、その要旨を掲載しています。

詳しくは、図書館や議会事務局に会議録があるほか、町ホームページでも見るすることができます。

<http://www.town.tateyama.toyama.jp/>

## 防災対策

### 災害時の町民に対する情報伝達は

速やかに行えるよう取り組んでいる



荻生 義明 議員

議員 西日本豪雨のよう  
な災害が発生した場  
合の町民に対する情報  
伝達について町の対応  
は。  
今年度を実施する防  
災行政無線の親機の更  
新に伴う子機の音声伝

達調査の進捗状況は。  
また個別受信機の導  
入予定は。

総務課長 避難準備・  
高齢者避難開始、避難  
勧告または避難指示等  
の伝達は、防災行政無  
線、広報車による巡回  
放送、消防団・自治会・  
町内会・自主防災組織  
等による各戸伝達、緊  
急速報メールなどによ  
り行うこととしてい  
る。

7月の豪雨で発令し  
た避難準備・高齢者避  
難開始の伝達について  
は、ツイッターによる  
周知も図った。

防災行政無線の屋外  
拡声子局60局すべての  
音声伝達範囲を把握す  
るため、業者に調査を



屋外拡声子局



防災無線親機

委託し、9月末に報告  
予定である。  
個別受信機について  
は、利点はあるが高価  
である。  
場所によっては屋外  
受信アンテナの設置な  
どのデメリットがあり  
今のところ導入の予定  
はない。

防災意識向上

避難情報等を正しく

認識できる工夫を

わかりやすい防災マップの標記を

議員 気象情報と避難情報の関係を住民が正しく認識し、避難行動がとれるよう工夫・周知が必要であるが。

イラストで誰にでもわかりやすくなるよう工夫していく。

町長 先日の豪雨や台風で警報が発令されている中「避難勧告がでたのか」「このまま家にいても大丈夫なのか」といった問い合わせがあった。

日本全国の情報が飛び交うため、かえって今いる自分の場所の状況が分かりにくいことがある。

次回防災マップ作成時に、明確な標記や



澤井峰子議員

子育て支援

未満児の途中入所への対策は  
保育士等の確保や  
施設利用調整等に努める

段階的に出される主な防災気象情報と避難行動の例

大雨の場合	気象庁など	市町村	住民
危険性 ↓ 高	<b>注意報</b> 災害のおそれがある	<b>避難準備情報</b> 避難経路が通行規制の基準を超えそうな場合など	気象情報に注意し、避難の準備をする 高齢者や乳幼児らは避難する
	<b>警報</b> 重大な災害のおそれがある	<b>避難勧告</b> 土砂災害警戒情報が出た場合など	避難をする
	<b>特別警報</b> 重大な災害が迫っている	<b>避難指示</b> 状況がさらに悪化したり、避難勧告による避難が十分でなかったりする場合など	避難勧告で、避難しそびれた住民が避難する 土砂災害では、避難しそびれた住民は屋内でより安全な場所に移る

健康福祉課長 途中入所について、0歳児、2歳児までの入所割合は9割を占めている。保護者の希望に対し、運営面での基準として一人当たりの面積要件や保育士等の確保が課題となっている。今後とも保育士等の確保と保護者へのアドバイスによる施設利用調整等に努めていく。

議員 障害者雇用者に関して、どのように確認していたのか。その水増しの原因はどこにあったのか。

町長 職員自ら身体障害者手帳の写しを提出する場合と、病気休暇届けの診断書や上司の聞き取りから判断して算定していた。

「障害者手帳での確認」という認識が不足していた。

議員 18歳以上65歳未満の障害者は275人いる。すべての方が働ける



後藤智文議員

障害者雇用

原因・責任・再発防止策は

認識不足・応募基準の緩和・議会報告

状態ではないと思うが、少なくとも働きたいと思っている障害者に対して、雇用機会を奪った責任をどのように考えるか。

町長 障害のあるなしにかかわらず職員を募集しており、決して障害者の雇用機会を奪ったとは思っていない。

今後は、正規職員の学歴などとの応募基準を健常者より緩和することを検討する。

議員 町長は、提案理由説明でお詫びを言われたが、今後、チェックする仕組み、いわゆる再発防止策をどのように考えているか。議会への報告も一つだと思うがどうか。

町長 国の指針に基づいた障害者の把握及び障害者手帳の確認を厳密に行っていく。再発防止策として議会への報告も考えられる。



## 一 般 質 問

総務課長 平成28年3月に策定した「立山町男女共同参画プラン

議員 男女共同参画社会基本法は、平成11年6月に公布・施行された。富山県内で条例の制定されていない自治体は7箇所ある、男女共同参画の実現を目指す町の条例を制定する予定は。

### 男女共同参画

#### 条例を制定する予定は

他市町村の効果を検証し今後検討



髪口清隆 議員

（第3次）に基づき、男女共同参画の意識づくり、ワーク・ライフ・バランスの実現などを基本目標とし、推進に努めている。

条例は、町政の方向性を示し、あらゆる個別施策が確実に実施していくという点で、大変重要である。プランの進捗状況や、他市町村の条例制定後の効果を検証するなど、条例制定について、今後検討していく。

### 犬山市との交流

#### 相互交流の促進を

末永い交流の  
実現に努める



議員 犬山市とは、昭和48年10月に姉妹都市提携をしている。町民・市民間でさらに相互交流の促進をと思うが、町としての後押しは。

商工観光課長 職員間の相互訪問や人事交流・16回目を数える、姉妹都市小学生交流事業・身体障害者協会の交流等、幅広い分野で活発な交流が行われている。引き続き自立した交流を促進するとともに、次代を担う子ども達へしっかりと引き継がれるよう、末永い交流の実現に努めていく。



国宝犬山城

### 子育て支援

#### 「ベビーボックス」や祝電送付を

新年度からの実行を検討



窪田一誠 議員

議員 近年急速に進む人口減少の対策として、子育てしやすい町のPR・人口流入の促進や出生率の向上につながるため、赤ちゃんの誕生を祝福して「ベビーボックス」や祝電をプレゼントできないか。

町長 一人ひとりの誕生を祝福して祝電を送る事や育児用品の詰め合わせを贈る「ベビーボックス」事業を新年度から何らかの形で実行できないか検討したい。

### 防犯カメラ

#### 設置の補助金制度は

効果や運営を期待して検討

町長 今後県警の防犯カメラ貸出事業により県内各地で通学路の見守りに関する効果や町内会等による運営を期待しており、それらの結果を踏まえて防犯カメラ設置補助制度を検討していく。

議員 上市警察署管内の浦田1区集落・宮路集落で可搬型防犯カメラを10月から、小学児童の見守り通学路に設置予定である。犯罪の起きにくい「まちづくり」を推進する「ためにカメラ設置の補助金制度に取り組む考えはないか。



宮路集落の防犯カメラ





内山 昭 議員

## 町営住宅

### 施設の良い維持と指導は

#### 公営住宅法に基づき 必要な指導を

議員 入居者の不適切な使用は、老朽化を早め、隣人とのトラブルや火災の原因ともなりかねない。管理者としての考えと取組みは。

建設課長 入居者のプライバシーシー保護の観点から、詳細な状況を随時把握することは困難である。

しかし、不適切な使用が認められた場合には指導を行い、それでも改善が見られない状況が続けば、町条例に基づき、明け渡しを求めることも検討する。

管理者として、引き続き施設の長寿命化並びに安全安心な生活環境の維持に努めていく。

議員 認知症であっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるようにと、公益社団法人支部からの要望書に対する見解は。

## 介護保険

### 介護保険制度に沿った取り組みは

#### 実効性のある支援体制 の充実を

健康福祉課長 「認知症初期集中支援チーム」の設置や「認知症カフェ」の充実など早期診断、早期対応、自立に向けたサポートを行っている。

また、地域で「認知症サポーターの養成」や「認知症高齢者等SOSネットワーク」により、早期発見と関係機関との支援体制の構築に努めている。



認知症カフェ

## 学校給食

### 学校給食で「富富富」の使用を

#### 関係機関と検討し、対処する

議員 今年度、富山県ではコメの新品種「富富富」を本格的に栽培し、立山町では36ha耕作している。単価的にも高くなるが、地産地消の点から是非、学校給食に使用しては。



「富富富」発売前日の日本橋とやま館

農林課長 新品種「富富富」の概算金額は、一等米60キロ当たりで14,500円となり、コシヒカリを1,500円上回る価格となった。

他県の新品種と比較しても遜色のない価格であり、一定の評価がされたものと思う。

今年度は、一般消費者を中心に販売されるものと聞いている。

学校給食に向けては、今後、関係機関と検討し、対処していく。



平井 久秋 議員

## 安心・安全

### 法定耐用年数に 達した水道管は

301.5kmのうち、85.9km



建設中の岩嶺野調整池

水道課長 総水道管路延長301.5kmのうち導水管1.9km、送水管8.3km、配水管75.7km、合わせて85.9kmとなっており法定耐用年数を経過した管路経年比率は、28.5%で県平均の12.3%を16.2ポイント上回っている。

議員 今夏の西日本の豪雨災害は、水道の復旧がまず、望まれていると思う。

安定した水を供給することは、自治体の最重要事業である。

40年といわれる法定耐用年数に達している水道管は、どの程度あるのか。

その他の質問

澤井議員

\*防災について

・地区防災計画の推進を  
・マイタイムラインを  
・避難弱者の防災教育は

・液体ミルクの体制を  
・子育て支援  
・保育無償化による影響は

\*観光振興  
・SNS発信を想定した環境整備を  
・移住定住促進を  
・平坦地観光活性化を

\*立山ブランド海外展開戦略拠点施設について

・議会に報告なし。議会軽視では  
・施設の詳細は  
・15年間の貸付で採算は  
・立山町産の海外展開の具体的な考えは  
・醸造所の規模と従業員は

\*「立山黒部ブランド化」について

・県担当者との話し合いの内容は  
・通年観光・インバウンド頼りに対する考えは  
・立山カルデラ展望台の整備と宣伝を  
・無電柱化ネット募金について

\*避難対策について  
・寄せられた金額は  
・駅周辺の魅力アップを  
・避難対策について  
・段ボールの簡易ベツトを  
・寝食分離を  
・要支援者の援助体制は

\*髪口議員  
・タブレット端末によるペーパーレス化について  
・男女共同参画社会について  
・イクボス宣言を  
・広報誌「さずな」の全戸配布を

\*窪田議員  
・避難情報等の対応について  
・住民・関係組織への周知方法は  
・避難所開設の指示は

誰か  
・高齢者世帯や介護施設へ連携・周知は誰か  
・避難施設の運営責任者は誰か  
・老朽化した町道対策について

\*内山議員  
・「ぎゅっと立山フルーツ」の搾汁施設について  
・庁舎玄関前にタクシー専用駐車スペースについて

\*平井議員  
・学校給食について  
・教育現場での食育指導を  
・国産食材の割合は  
・認知症の人の賠償保険制度について  
・安心安全について  
・自主防災の備えとして井戸水掘削への補助を  
・地籍調査の今後の計画は  
・消防分団のカラーホースを配備しては

9月定例会 議員別賛否一覧表

○賛成×反対

議案	議長 村田昭	議員												
		髪口清隆	平井久秋	荻生義明	澤井峰子	石田孝夫	村上紀義	岡田健治	内山昭	佐藤康弘	伊東幸一	後藤智文	坂井立朗	窪田一誠
第68号 平成30年度立山町一般会計補正予算について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第69号 平成30年度立山町国民健康保険事業特別会計補正予算について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第70号 平成30年度立山町後期高齢者医療事業特別会計補正予算について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第71号 平成30年度立山町墓地公園事業特別会計補正予算について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第72号 平成30年度立山町地域開発事業特別会計補正予算について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第73号 平成30年度立山町農業集落排水事業特別会計補正予算について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第74号 平成30年度立山町水道事業会計補正予算について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第75号 立山町ブランド海外展開戦略拠点施設整備基金条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第76号 立山町ブランド海外展開戦略拠点施設設置条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第77号 立山町地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部改正について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第78号 立山町都市公園条例の一部改正について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
第79号 新瀬戸・立山辺地総合整備計画の策定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第80号 東峯辺地総合整備計画の変更について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第81号 平成29年度立山町一般会計、立山町国民健康保険事業特別会計、立山町後期高齢者医療事業特別会計、立山町墓地公園事業特別会計、立山町地域開発事業特別会計及び立山町農業集落排水事業特別会計の決算認定について	継続審査													
第82号 平成29年度立山町水道事業会計利益の処分及び決算認定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第83号 業務用パソコンの取得について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第84号 スクールバスの取得について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第85号 公有財産(利田地区企業団地造成地)の処分について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第86号 立山町教育委員会教育長の任命について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第87号 立山町教育委員会委員の任命について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第88号 立山町固定資産評価審査委員会委員の選任について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出第4号 臓器移植の環境整備を求める意見書の提出について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出第5号 決算特別委員会の設置及び付託について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○





7月30日～31日

## 先進地 箕輪町議会にて議会運営と 議会改革について学ぶ(長野県箕輪町)

### 開かれた議会

議会運営委員会と議会改革特別委員会が合同で長野県箕輪町議会において、視察研修を行った。

立山町よりやや人口は少ないものの議員定数は15名である。

平均年齢は70歳、最年長77歳、最年少62歳である。

本会議の質問形式は一般質問の対面方式を実施し、一問一答方式で行い、1人の持ち時間は質問と答弁を含めて55分間となっている。

定例会における質問者の人数制限はなく、全議員が一般質問している。

議会改革の取り組みでは、議員定数の見直しを検討されており、議員報酬については議長が9,000円、副議長と常任委員長、議会運営委員長が7,000円を引き上げた。

【議会運営委員会】	
委員長	窪田 一誠
副委員長	坂井 立朗
委員	澤井 峰子
〃	石田 孝夫
〃	佐藤 康弘
【議会改革特別委員会】	
委員長	坂井 立朗
副委員長	伊東 幸一
委員	澤井 峰子
〃	石田 孝夫
〃	佐藤 康弘
〃	後藤 智文
〃	窪田 一誠
〃	村田 昭

じにおいて生中継と後日再放送を実施している。

また、議会ホームページに議会会議録を公開している。議会改革を主として「開かれた議会」といった改革が求められており住民参加型の議会運営と議会改革等について様々な取り組みがある中で、立山町議会に適したものを取り上げながら、議会運営、議会改革を推進していきたい。

8月28日～29日

## 立山自然保護特別委員会

### ～2014御嶽山噴火を教訓に～



8月28日から29日にかけて、長野県大町市扇沢を経由して立山室堂周辺の自然保護および自然環境の状況調査を目的とした、現地調査を実施した。

### 山岳をテーマとした 大町山岳博物館

山岳環境と自然、地域の文化を求める拠点施設（1951年創立）を視察した。①北アルプス後立山連峰を一望できる展望ラウンジ②山岳博物館の象徴ともいうべきニホンカモシカやライチョウの剥製や生活史等を展示した生きもののブース③山とかかわりをもって暮らしてきた人々の生活（山麓に住む人々や山小屋）を映像も交えて体感し、脈々と連なる歴史を肌で感じた。

### 国内外の観光客を 迎える安全対策

2012年の地獄谷周辺

の火山ガス噴出を受け、遊歩道の一部が立ち入り禁止区域となったままである。

各地の火山性災害を教訓に、山小屋にヘルメットとガスマスクを整備している。

また、エンマ台には「火山ガス情報ステーション」があり、外国人の登山者や観光客への多言語（5カ国語）での火山ガス警報案内や電光掲示板等で防災情報の発信が行われている。

周辺は活火山であること意識し、快適な登山を楽しむよう、山小屋関係者の皆様との協力のもと、今後更なる避難施設等の安全対策を充実することが当委員会の役割であることを再確認する現地調査となった。

委員長	伊東 幸一
副委員長	内山 昭
委員	佐藤 康弘
〃	後藤 智文
〃	坂井 立朗
〃	窪田 一誠
〃	村田 昭

## ～平成30年7月臨時会～

7月27日に平成30年7月臨時会が開かれ、専決処分の承認を求めるもの1件、補正予算1件、土地の取得について1件の合計3件の議案を可決しました。

**【専決処分の承認を求めることについて】**(7月の豪雨災害等を受けて2,000万円の補正予算を専決処分)

●公共土木施設災害復旧事業 …… 350万円 ●小学校施設メンテナンス事業 …… 400万円

●林道災害復旧事業 …… 389万円 ●農地農業施設災害復旧事業 …… 88万円 ほか

**【平成30年度一般会計補正予算】**平成30年度一般会計補正予算額 **1,468万円**

●スクールバス運行事業 …… 2,016万円 ●地域防災対策事業 …… 22万円 ほか

**【土地の取得について】**塚越地区企業団地造成事業用地を取得

## 犬山市議会との友好親善交流

8月10日～11日

去る8月10日～11日に立山町議会議員7名と職員1名で犬山市を訪問した。

犬山市と立山町との交流は、名古屋市から立山駅を結ぶ名鉄「北アルプス号」が、昭和47年から犬山駅に停車したことが縁となつて、昭和48年10月16日姉妹都市提携が結ばれた。

文化・経済、そして青少年の交流、お互いの行事の招待などで、相互交流が行われている。

8月10日は犬山市役所を訪問し、議会議場などを見学した後、犬山市と立山町の両議員間で初の試みとなる議会意見交換会が開催され、政務活動費の問題や、交流事業のあり方について様々な意見交換が行われた。

11日は、平成30年3月に完成した内田防災公園を視察。

2.1 haの敷地内には、防災備蓄倉庫(トイレ合築)・マンホールトイレ6基・耐震性貯水槽(40m<sup>3</sup>)2基などがある。

公園隣の2.0 haの敷地内には、多目的広場・観光駐車場・消防署北出張所がある市街地整備区画が併設され、防災公園と市街地の一体的な整備による「災

害に強いまちづくり」になっている。

今回の友好親善交流により、今まで以上に犬山市が近く感じられ、防災に対する意識が一段と高まり、今後の町の防災に活かしていきたい。

議長 村田 昭  
議員 髪口 清隆

平井 久秋  
荻生 義明

澤井 峰子  
石田 孝夫  
村上 紀義





# 子ども議会

立山町子ども議会が、8月3日に開かれた。それに先立ち、7月30日に立山町役場4階の本会議場を使い、リハーサルが行われた。各委員会が発表している中、残った委員会の子どもたちから、今回の子ども議会の意気込みについて、話を聞いた。

A1.最初はなりたくなかったけど、先生に推薦されたらやってみたくなった。

(安全委員会、5年男子)

A1.立山町を良くしたかった。

(安全委員会6年男子)

Q1.なぜ、子ども議会の議員になりたかったのですか？

A1.困っている人がいたら助けてあげられるような町を作りたいから。

(思いやり委員会5年女子)

A1.大きな仕事をしたことがなかったけど、皆のために頑張ってみようかなと思った。

(思いやり委員会6年女子)

A2.立山町は元気がないイメージなので、元気が出る町にしたい。

(活力委員会6年男子)

A2.今でも良い町だけど、奥田交番事件を見て、もっと安全な町にしていきたい。

(安全委員会6年女子)

A2.町に住む人が皆、思いやりを持ってほしい。

(思いやり委員会5年女子)

Q2.どんな町にしていきたい？

A2.地域で交流して、思いやりがあふれるような町になってほしい。

(思いやり委員会6年女子)

A2.誰もが明るく楽しい町になってほしい。

(活力委員会6年男子)

A3.原稿をおぼえるところ。量は多かったけど皆のためになるならと思い、頑張った。

(安全委員会6年男子)

A3.緊張した。

(安全委員会5年男子)

A3.伝わりやすいように考えたり、発表の仕方考えたりしたところ。

(思いやり委員会6年男子)

Q3.子ども議員になって苦労したところは？

A3.委員会のテーマを考えること。

(活力委員会6年男子)

A3.方向性を考えて、修正したりしたこと。

(活力委員会6年女子)

A4.セリフをしっかり覚えて、大きな声で、はっきり、ゆっくり話したい。

(思いやり委員会5年女子)

Q4.本番に向けてどのような気持ちですか？

A4.リハーサルをやり、落ち着いた。

(思いやり委員会6年男子)



今回、活力委員会の「商店街にアートシャッターを」など、町としても前向きな提案もあった。小学生でこのような経験をすることで、その後の町に対する見方や思いが、大きく変わると思う。この貴重な経験を多くの友達と共有して、これからの生活に生かしてほしい。

## 立山町監査委員が平成29年度決算審査について議会報告

9月定例会で、立山町監査委員による平成29年度決算審査概要が下記のとおり報告され、立山町議会の決算特別委員会に付託されました。審査の対象は、一般会計と特別会計の国民健康保険事業、後期高齢者医療事業、墓地公園事業、地域開発事業、農業集落排水事業及び水道事業会計です。

決算特別委員会は、9月26日から9月28日までの期間に開催され、審査結果は12月定例会で報告及び採決されます。

### <決算特別委員会の委員>

委員長 岡田 健治  
副委員長 村上 紀義  
委員 澤井 峰子 石田 孝夫  
伊東 幸一 後藤 智文

### 平成29年度一般会計決算報告の概要

歳入	126億9,989万円 (前年比+7億5,300万円)
歳出	122億3,917万円 (前年比+6億6,171万円)
歳入歳出差引額	4億6,072万円 (うち6,584万円を翌年繰越、3億9,488万円の黒字決算)
町の基金残高(貯金)	36億1,048万円 (前年比+1,231万円)
町の借入金 (借金)	113億5,954万円 (前年比-7億9,997万円)

## 議会改革特別委員会を開催

## ～賛否の公開等を決定～

9月5日に議会改革特別委員会が開催され、開かれた議会に向けての取組みとして、「議案等への議員別賛否一覧の公開」および「政務活動費の領収書等の公開」について協議・承認されました。その後、9月12日の議員協議会においても全議員の承認を得て、公開が決定しました。詳細は以下の通りです。

### ●議案等への議員別賛否一覧の公開

9月議会定例会分から「たてやま議会だより」と「町ホームページ」にて公開します。

- ・「たてやま議会だより」……今回の議会だよりから掲載を開始しました。(8ページに掲載しています。)
- ・「町ホームページ」……11月1日より掲載予定です。

### ●町ホームページに政務活動費の領収書等を公開

政務活動費は、議員報酬とは別に、議員一人当たり年額12万円(1万円/月)が交付されています。

現在、町ホームページには「政務活動費収支報告書」(会派別の人数、交付額、支出額、返還額)を年度毎(平成27年度分～平成29年度分)掲載していますが、平成30年度分からは領収書等の証拠書類も掲載します。(掲載時期は来年度の4月末頃を予定しています。)

※これらに加え、「政務活動費の運用の手引き」を作成しました。

## あ と が き

議会や議会だよりについて、みなさんのご意見・ご感想は

立山町議会内 議会だより係

TEL 462-9984 FAX 464-1118 まで

図書館及び町HPの「議会会議録」もご覧ください

らいじい＆らいらい  
LINE スタンプ販売中



議会広報特別委員会  
委員長 澤井 峰子  
副委員長 平井 久秋  
委員 荻生 清隆  
石田 孝夫 義明  
村上 紀義  
岡田 健治

今回の「議会だより」の表紙は、日中上野小学校の運動会の様子を取り上げました。今年の夏は猛暑に見舞われましたが、9月に入ると二転して雨が続き、運動会が順延になる小・中学校もありました。そうした中で、子ども達の元気で躍動感あふれる動き、そしていきいきと楽しんでいる表情を見ると、たくさんの方の元気をももらいました。

これからのスポーツに限らず、いろんな分野で活躍できるように、地域全体で子ども達を温かく見守って、健やかな成長につなげていきたいと思います。

(髪口記)